

【指標 - 5】路上工事時間（現況値：621 時間/km・年 H15 年度：590 時間/km・年 H19 年度：約 2 割削減）

現状と問題点

これまでの、道路工事と占用工事、占用工事同士について国道事務所単位で全体工事調整を行い、路上工事対策を毎年行ってきたが、「道路利用者満足度調査(平成 15 年度調査結果)」によれば、沖縄県における路上工事のやり方に対する満足度は 5 段階評価で「2.01」であり、沖縄において最も不満が高い。

今後も、路上工事に関する情報提供など道路利用者とのコミュニケーションを促進する工夫や、道路利用者が実感できる縮減施策の実施・公表といった、路上工事に関するアカウンタビリティ向上を図る工夫が必要である。

沖縄県の直轄国道で行われる路上工事のうち、純粋な道路管理のための工事（補修工事）は H14 年で約 7 割であり、残りは道路管理者以外によって行われる上水道、下水道、電気の事業者などによる占用工事である。今後、路上工事の縮減をさらに進めるには、第 1 に道路管理者が行う工事の集約化を図ることである。また、3 割程度を占める占用工事の縮減については、占用企業者等に、工事縮減のインセンティブが働く施策が実施されていないことと共に、縮減目標を確実に達成するための仕組みが構築されていないことが原因である。

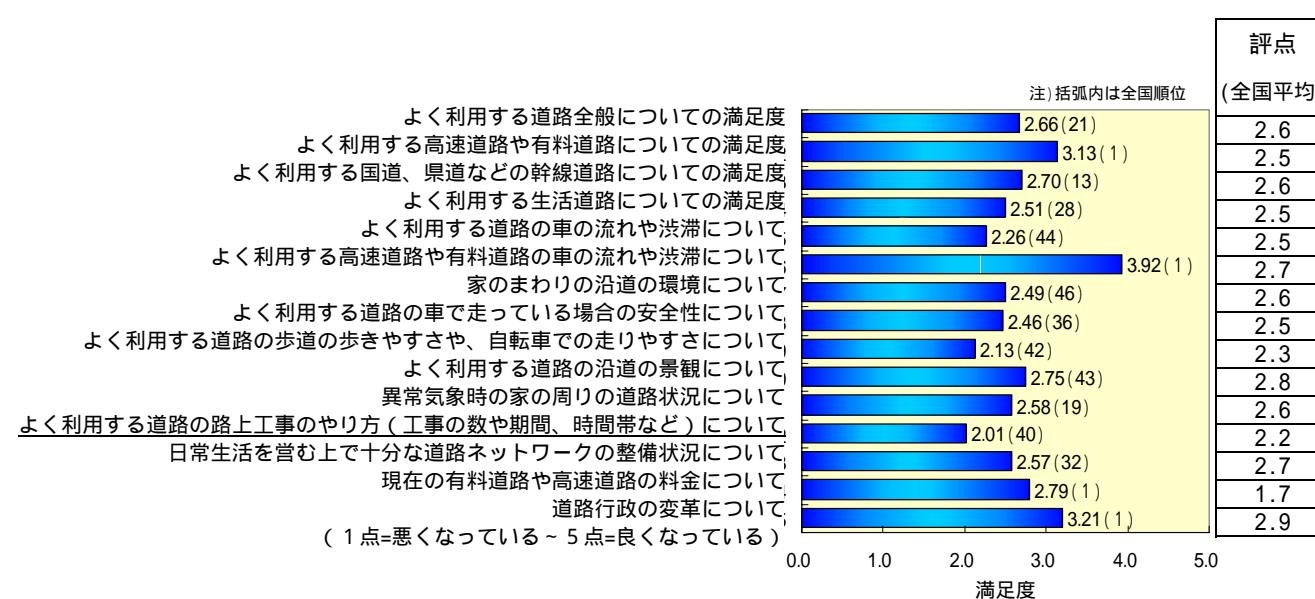


図 道路利用者満足度調査結果（沖縄県）

出典：道路に対する利用者満足度調査結果（H15 年 7 月）

講じる施策や事業

関連する施策・事業	平成 15 年度の主要事業・施策	平成 15 年度供用予定箇所
路上工事の実施日時管理の徹底	<ul style="list-style-type: none"> ・道路管理者が行う工事の集約化 ・占用企業者別の路上工事実施状況の公表の検討 ・道路利用者への情報提供 ・ホームページを活用した道路利用者からの意見収集 	



図 道路情報提供システム 工事規制情報提供画面

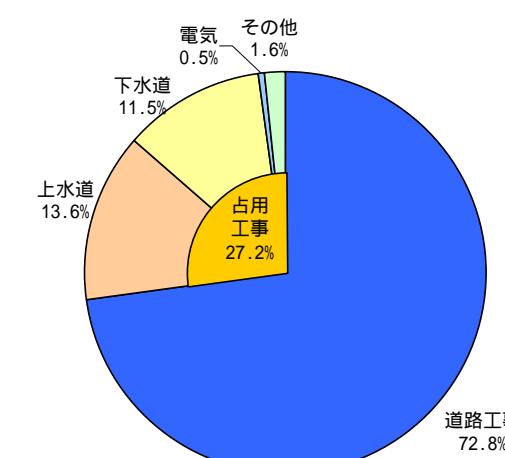


図 沖縄県（直轄国道）の路上工事内訳（H14 年度）

出典：沖縄総合事務局道路管理課